

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 平成24年11月13日

【四半期会計期間】 第80期第2四半期(自平成24年7月1日至平成24年9月30日)

【会社名】 高压ガス工業株式会社

【英訳名】 KOATSU GAS KOGYO CO., LTD.

【代表者の役職氏名】 取締役社長 竹内弘幸

【本店の所在の場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北隆行

【最寄りの連絡場所】 大阪市北区堂山町1番5号(大阪合同ビル)

【電話番号】 06(6311)1361番 代表

【事務連絡者氏名】 取締役経理部長 大北隆行

【縦覧に供する場所】 株式会社大阪証券取引所  
(大阪市中央区北浜一丁目8番16号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部 【企業情報】

### 第1 【企業の概況】

#### 1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第79期 第2四半期 連結累計期間		第80期 第2四半期 連結累計期間		第79期	
		自 至	平成23年4月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年4月1日 平成24年9月30日	自 至	平成23年4月1日 平成24年3月31日
売上高	(千円)		35,272,317		37,626,322		72,724,890
経常利益	(千円)		2,467,403		2,476,430		5,543,790
四半期(当期)純利益	(千円)		1,363,942		1,358,352		2,734,846
四半期包括利益又は包括利益	(千円)		1,123,950		966,903		2,883,657
純資産額	(千円)		37,061,306		39,052,165		38,473,411
総資産額	(千円)		63,882,794		69,692,047		69,547,354
1株当たり四半期(当期) 純利益金額	(円)		24.74		24.65		49.62
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益金額	(円)						
自己資本比率	(%)		56.1		54.07		53.4
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,288,298		1,373,627		5,168,555
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)		529,099		1,668,970		1,667,675
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)		1,491,136		1,105,795		1,883,579
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)		12,905,983		13,855,575		15,256,635

回次		第79期 第2四半期 連結会計期間		第80期 第2四半期 連結会計期間	
		自 至	平成23年7月1日 平成23年9月30日	自 至	平成24年7月1日 平成24年9月30日
1株当たり四半期純利益金額	(円)		10.50		11.54

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しているため、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載していません。  
 2. 売上高には、消費税等は含まれていません。  
 3. 「潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額」については、潜在株式が存在しないため、記載していません。

#### 2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社及び関係会社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

## 第2 【事業の状況】

### 1 【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、本四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

### 2 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

### 3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 業績の状況

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の復興需要を背景に緩やかな回復傾向がみられましたが、海外経済の減速による輸出の減少、長びく円高、個人消費の息切れなどの影響により、停滞感を強めながら推移いたしました。

このような状況のもと、グループ全体の連携や販売体制の強化をはかるとともに、効率化に努めながら積極的な営業活動を推進してまいりました結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は376億26百万円(前年同期比6.6%増加)、営業利益は22億46百万円(前年同期比3.8%減少)、経常利益は24億76百万円(前年同期比0.3%増加)、四半期純利益は13億58百万円(前年同期比0.4%減少)となりました。

当第2四半期連結累計期間における、セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ガス事業

ガス事業を取り巻く環境は、震災復興事業の動きがみられるものの、仕向け先製造業の生産活動の低迷があり、厳しい状況で推移いたしました。

このような事業環境のなか、主力製品の『溶解アセチレン』は、一部の復興需要や新規需要先の開拓があったものの、造船業界向けの需要が減少し、売上高は前年同期を下回りました。『その他工業ガス等』は、酸素、炭酸ガスが鉄鋼、建機、自動車向けに、また、窒素、アルゴンが電機、化学、非鉄金属、半導体向けなどの需要がそれぞれ減少し、LPガス等の石油系ガスは新規需要先の獲得が寄与したものの、売上高は前年同期を下回りました。『溶接溶断関連機器』は、設備投資の抑制の影響を受け、溶接棒等の消耗品関係の需要が減少しましたが、設備関連機器等の大型スポット需要が寄与し、売上高は前年同期を上回りました。『容器』は、特殊容器の需要が増加したものの、各種シリンダーガスの需要の低迷により中容器が減少し、売上高は前年同期を下回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は287億80百万円(前年同期比7.4%増加)、営業収入は1億33百万円(前年同期比2.3%減少)、営業利益は19億83百万円(前年同期比11.0%減少)となりました。

## 化成品事業

化成品事業を取り巻く環境は、住宅着工件数が回復基調にあるものの、長期化する円高などにより、依然として厳しい状況が続きました。

『接着剤』は、ペガールが接着用、塗料用に需要を伸ばし、粘着用も新規にテープ、ラベル用途にそれぞれ需要を伸ばしました。また、瞬間接着剤シアノンが、国内向けは、弱電関係の需要が減少しましたが、海外向けは、円高の影響を受けながらも高機能品の需要を伸ばし、売上高は前年同期を上回りました。

『塗料』は、室内温度の上昇を防ぐ遮熱塗料クールトップの需要が増加し、売上高は前年同期を上回りました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は84億93百万円(前年同期比5.3%増加)、営業収入は5百万円(前年同期比23.3%減少)、営業利益は6億89百万円(前年同期比16.1%増加)となりました。

## その他事業

その他事業は、LSIカードの需要の減少と海外向け容器等の需要の減少により、売上高は前年同期を下回りました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3億52百万円(前年同期比17.1%減少)、営業利益は19百万円(前年同期比62.8%減少)となりました。

(売上高及び営業収入内訳)

(単位：百万円)

事業	区 分	第 79 期 第 2 四半期連結 累計期間	第 80 期 第 2 四半期連結 累計期間	増減額	増減率
ガス事業	溶解アセチレン (水酸化カルシウムを含む)	2,676	2,629	46	1.7%
	その他工業ガス等	13,595	13,439	155	1.1%
	溶接溶断関連機器	7,846	10,448	2,602	33.1%
	容器	1,882	1,547	334	17.7%
	その他	783	715	67	8.6%
	営業収入	136	133	3	2.3%
	合計	26,920	28,913	1,993	7.4%
化成品事業	接着剤	2,060	2,318	258	12.5%
	塗料	3,977	4,053	75	1.9%
	その他	2,025	2,121	96	4.7%
	営業収入	6	5	1	23.3%
	合計	8,069	8,498	428	5.3%
その他事業	LSIカード	264	200	64	24.4%
	その他	160	152	8	5.2%
	合計	425	352	73	17.1%
合 計		35,415	37,764	2,349	6.6%

(2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という。 )は、138億55百万円となり、前連結会計年度末と比べ14億1百万円減少しました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動の結果得られた資金は、13億73百万円(前年同期比6.6%増加)となりました。

これは主に、法人税等の支払い額が11億39百万円及び売上債権の増加が9億46百万円あったものの、税金等調整前四半期純利益が24億69百万円、減価償却費が7億4百万円及び仕入債務の増加額が11億10百万円あったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動の結果使用した資金は、16億68百万円(前年同期比215.4%増加)となりました。

これは主に、有形固定資産の取得による支出が15億88百万円及び投資有価証券の取得による支出が1億9百万円あったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動の結果使用した資金は、11億5百万円(前年同期比25.8%減少)となりました。

これは主に、短期借入金の返済による支出が6億92百万円及び配当金の支払いが3億84百万円あったことによるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について、重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間の研究開発費は1億25百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

### 第3 【提出会社の状況】

#### 1 【株式等の状況】

##### (1) 【株式の総数等】

###### 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	100,000,000
計	100,000,000

###### 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成24年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成24年11月13日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	55,577,526	55,577,526	大阪証券取引所 (市場第一部) 東京証券取引所 (市場第一部)	単元株式数は 1,000株で あります。
計	55,577,526	55,577,526		

##### (2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

##### (3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

##### (4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

##### (5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成24年7月1日～ 平成24年9月30日		55,577,526		2,885,009		2,738,251

(6) 【大株主の状況】

平成24年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
電気化学工業(株)	東京都中央区日本橋室町2丁目1-1	6,906	12.42
こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町1-5	5,764	10.37
共栄火災海上保険(株)	東京都港区新橋1丁目18-6	4,003	7.20
大陽日酸(株)	東京都品川区小山1丁目3-26	3,023	5.43
みずほ信託銀行(株)退職給付信託 みずほ銀行口再信託受託者 資産管理サービス信託銀行(株)	東京都中央区晴海1丁目8-12	2,717	4.88
(株)三菱東京UFJ銀行	東京都千代田区丸の内2丁目7-1	2,471	4.44
高圧ガス社員持株会	大阪市北区堂山町1-5	1,810	3.25
三菱UFJ信託銀行(株)	東京都港区浜松町2丁目11-3	1,500	2.69
日本トラスティ・サービス信託 銀行(株)(信託口)	東京都中央区晴海1丁目8-11	1,226	2.20
日本マスタートラスト信託銀行 (株)(信託口)	東京都港区浜松町2丁目11-3	942	1.69
計		30,363	54.63

(注) こうあつ共栄会は、当社の取引先会社で構成される持株会であります。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成24年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 455,000		
	(相互保有株式) 普通株式 92,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 54,548,000	54,548	
単元未満株式	普通株式 482,526		一単元(1,000株)未満の株式
発行済株式総数	55,577,526		
総株主の議決権		54,548	

- (注) 1 「単元未満株式」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が600株含まれています。  
 2 「単元未満株式」欄の普通株式には、当社所有の自己株式及び相互保有株式が次のとおり含まれています。  
 自己株式 270株  
 相互保有株式 スズカファイン(株) 231株  
                   スズカケミー(株) 560株  
                   名岐溶材(株) 133株(こうあつ共栄会名義)

【自己株式等】

平成24年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 高圧ガス工業株式会社	大阪市北区堂山町1-5	455,000		455,000	0.81
(相互保有株式) スズカファイン株式会社	三重県四日市市塩浜町1	41,000		41,000	0.07
スズカケミー株式会社	佐倉市石川熊野堂620-1	43,000		43,000	0.07
名岐溶材株式会社	岐阜市手力町1-4	1,000	7,000	8,000	0.01
計		540,000	7,000	547,000	0.98

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
加入持株会における共有持分数	こうあつ共栄会	大阪市北区堂山町

2 【役員の状況】

該当事項はありません。



## 第4 【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しています。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツにより四半期レビューを受けています。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,292,635	13,891,575
受取手形及び売掛金	1 22,969,975	1 23,904,825
商品及び製品	2,380,581	2,372,428
仕掛品	361,895	457,437
原材料及び貯蔵品	1,170,450	1,182,579
繰延税金資産	741,857	777,592
その他	169,113	227,263
貸倒引当金	161,923	157,281
流動資産合計	42,924,586	42,656,420
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,602,470	4,990,668
機械装置及び運搬具(純額)	1,932,960	1,992,286
土地	12,112,466	12,628,700
建設仮勘定	282,167	211,924
その他(純額)	663,866	714,844
有形固定資産合計	19,593,931	20,538,424
無形固定資産		
のれん	137,270	137,209
その他	189,432	157,205
無形固定資産合計	326,702	294,414
投資その他の資産		
投資有価証券	5,222,470	4,552,684
繰延税金資産	472,624	615,556
その他	1,124,218	1,161,324
貸倒引当金	117,179	126,778
投資その他の資産合計	6,702,133	6,202,786
固定資産合計	26,622,767	27,035,626
資産合計	69,547,354	69,692,047

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1 17,309,062	1 18,419,076
短期借入金	3,504,000	2,811,200
1年内返済予定の長期借入金	43,171	639,996
未払法人税等	1,140,941	936,716
賞与引当金	1,084,347	1,045,491
その他	1 2,546,564	1 2,222,190
流動負債合計	25,628,086	26,074,671
固定負債		
長期借入金	3,663,347	3,043,349
繰延税金負債	403,533	370,724
退職給付引当金	255,794	201,332
役員退職慰労引当金	207,551	29,435
負ののれん	2,218	1,478
その他	913,411	918,889
固定負債合計	5,445,856	4,565,210
負債合計	31,073,942	30,639,882
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,885,009	2,885,009
資本剰余金	2,745,142	2,745,142
利益剰余金	31,064,607	32,037,072
自己株式	239,790	241,970
株主資本合計	36,454,969	37,425,254
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	742,029	254,231
その他の包括利益累計額合計	742,029	254,231
少数株主持分	1,276,412	1,372,679
純資産合計	38,473,411	39,052,165
負債純資産合計	69,547,354	69,692,047

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	35,272,317	37,626,322
売上原価	25,390,387	27,791,016
売上総利益	9,881,929	9,835,306
営業収入	143,079	138,302
営業総利益	10,025,009	9,973,608
販売費及び一般管理費	7,689,100	7,726,820
営業利益	2,335,908	2,246,788
営業外収益		
受取利息	3,325	2,891
受取配当金	78,861	70,627
受取手数料	34,083	43,446
負ののれん償却額	1,397	739
その他	228,345	226,036
営業外収益合計	346,012	343,741
営業外費用		
支払利息	41,882	40,055
環境対策費	122,368	-
その他	50,266	74,044
営業外費用合計	214,518	114,100
経常利益	2,467,403	2,476,430
特別損失		
投資有価証券評価損	15,433	6,966
ゴルフ会員権評価損	2,950	400
特別損失合計	18,383	7,366
税金等調整前四半期純利益	2,449,020	2,469,064
法人税、住民税及び事業税	856,075	935,992
法人税等調整額	119,666	68,219
法人税等合計	975,741	1,004,211
少数株主損益調整前四半期純利益	1,473,278	1,464,852
少数株主利益	109,335	106,500
四半期純利益	1,363,942	1,358,352

【四半期連結包括利益計算書】  
 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,473,278	1,464,852
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	349,328	497,948
その他の包括利益合計	349,328	497,948
四半期包括利益	1,123,950	966,903
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,030,284	870,554
少数株主に係る四半期包括利益	93,666	96,349

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	2,449,020	2,469,064
減価償却費	745,440	704,239
貸倒引当金の増減額(は減少)	20,177	4,956
賞与引当金の増減額(は減少)	57,326	38,855
退職給付引当金の増減額(は減少)	144,983	54,462
前払年金費用の増減額(は増加)	23,446	91,221
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	481,537	178,116
役員賞与引当金の増減額(は減少)	144,800	111,100
受取利息及び受取配当金	82,186	73,519
支払利息	41,882	40,055
投資有価証券評価損益(は益)	15,433	6,966
ゴルフ会員権評価損	2,950	400
売上債権の増減額(は増加)	888,472	946,380
たな卸資産の増減額(は増加)	236,216	99,517
仕入債務の増減額(は減少)	524,132	1,110,014
未払消費税等の増減額(は減少)	28,957	19,944
その他	239,933	242,611
小計	2,697,283	2,479,966
利息及び配当金の受取額	82,186	73,519
利息の支払額	41,882	40,055
法人税等の支払額	1,449,288	1,139,803
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,288,298	1,373,627
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	42,000	42,000
定期預金の払戻による収入	42,000	42,000
有形固定資産の取得による支出	449,465	1,588,649
投資有価証券の取得による支出	107,875	109,889
その他の支出	26,150	38,784
その他の収入	54,391	68,352
投資活動によるキャッシュ・フロー	529,099	1,668,970
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(は減少)	1,060,030	692,800
長期借入れによる収入	2,000,000	-
長期借入金の返済による支出	2,040,954	23,173
配当金の支払額	384,807	384,697
その他の支出	5,344	5,124
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,491,136	1,105,795
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,546	79
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	730,391	1,401,059
現金及び現金同等物の期首残高	13,636,375	15,256,635
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,905,983	13,855,575

【会計方針の変更等】

当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日至平成24年9月30日)
(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)
当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴ない、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しています。
これによる当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理

当四半期連結会計期間末日は、金融機関の休日にあたりますが、満期日に決済が行なわれたものとして処理しています。当四半期連結会計期間末日満期手形は、次のとおりであります。

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
受取手形	1,202,609千円	1,137,452千円
支払手形	1,051,805千円	971,418千円
設備支払手形	6,019千円	52,851千円

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
運賃	1,352,732千円	1,393,878千円
給料手当	2,243,520千円	2,117,845千円
貸倒引当金繰入額	- 千円	1,473千円
賞与引当金繰入額	598,790千円	667,521千円
消耗品費	518,590千円	582,666千円
賃借料	425,517千円	418,394千円
減価償却費	446,790千円	406,003千円
退職給付費用	70,628千円	73,398千円
役員退職慰労引当金繰入額	39,215千円	10,640千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
現金及び預金勘定	12,941,984千円	13,891,575千円
預入期間が3カ月を超える 定期預金	36,000千円	36,000千円
現金及び現金同等物	12,905,983千円	13,855,575千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年6月29日 定時株主総会	普通株式	386,113	7	平成23年3月31日	平成23年6月30日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月11日 取締役会	普通株式	330,919	6	平成23年9月30日	平成23年12月9日	利益剰余金

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年6月28日 定時株主総会	普通株式	385,887	7	平成24年3月31日	平成24年6月29日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月13日 取締役会	普通株式	330,733	6	平成24年9月30日	平成24年12月10日	利益剰余金



(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	26,783,865	8,062,948	425,504	35,272,317		35,272,317
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	136,385	6,694		143,079		143,079
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	26,920,250	8,069,642	425,504	35,415,397		35,415,397
セグメント利益	2,228,740	593,939	53,720	2,876,400	540,491	2,335,908

(注) 1 セグメント利益の調整額 540,491千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	ガス事業	化成品事業	その他事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	28,780,560	8,493,321	352,440	37,626,322		37,626,322
セグメント間の内部 売上高又は振替高						
営業収入						
外部顧客への営業収入	133,169	5,132		138,302		138,302
セグメント間の内部 営業収入又は振替高						
計	28,913,729	8,498,454	352,440	37,764,625		37,764,625
セグメント利益	1,983,041	689,922	19,966	2,692,930	446,141	2,246,788

(注) 1 セグメント利益の調整額 446,141千円は各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行なっています。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

1 株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	24円74銭	24円65銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	1,363,942	1,358,352
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	1,363,942	1,358,352
普通株式の期中平均株式数(株)	55,121,562	55,089,695

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載していません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

(中間配当)

平成24年11月13日開催の取締役会において、平成24年9月30日の最終の株主名簿に記録された株主に対して、次のとおり中間配当を行なう旨決議いたしました。

- 1 中間配当金の総額 330,733千円
- 2 1株当たり中間配当金 6円
- 3 支払請求権の効力発生日及び支払開始日 平成24年12月10日

## 第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

平成24年11月9日

高圧ガス工業株式会社

取締役会 御中

### 有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 大西康弘 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 秦 一 二 三 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている高圧ガス工業株式会社の平成24年4月1日から平成25年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成24年7月1日から平成24年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成24年4月1日から平成24年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、高圧ガス工業株式会社及び連結子会社の平成24年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。